

CLUSTERPRO®

Windows 2000 Service Pack 適用手順書

第6版 2002年 8月28日

本手順書では、CLUSTERPRO環境におけるWindows 2000 Service Pack 1/2/3の適用方法を説明しています。以降、特に断りのない場合、Service Packは、Windows 2000 Service Pack 1/2/3を指すものとします。

CLUSTERPROのコンポーネントによる、手順の要否は以下の通りです。

CLUSTERPROサーバ

CLUSTERPROのバージョン、運用状態 により本手順書の手順が必要です。

CLUSTERPROマネージャ

CLUSTERPROクライアント

CLUSTERPROに依存する特殊な手順はありません。通常の手順でService Packを適用してください。

作業の前に必ずお読みください

CLUSTERPROサーバのバージョン、運用状態^(*)などでService Packの適用手順が異なります。該当する手順を参照し、手順を厳守してください。

Service Pack 1で**SCSI共有ディスク**を使用する場合には、Express5800用Service Pack 1差分モジュールのRUR W2K-N-001は使用できません。

手順を誤ると STOPエラーが発生する などのトラブルが発生します。
ご注意ください。

(*) 以下の2通りの状態があります。

新規インストール： 新規にOSのインストール、Service Packの適用から行い、CLUSTERPROをインストールする状態を示します。

既に運用中： 既にCLUSTERPROをインストールしている環境またはCLUSTERPROをインストールしクラスタとして運用を開始している環境にService Packの適用をする状態を示します。

1 インストールを始める前に

Service Packのインストールの際には、以下の媒体/セットアップカードが必要となります。媒体が揃わない場合にはService Packのインストールを行なわないでください。

	CLUSTERPROのバージョン	
	6.0 Enterprise / Standard	6.0 Lite! / Value
Service Pack		
Service Pack 1/2/3		
Express5800用Service Pack 1/2/3 差分モジュール	(注意1)	
CLUSTERPRO		
CLUSTERPRO セットアップカード	(注意2)	(注意2)
CLUSTERPRO キーFD	(注意2)	(注意2)
Update/RUR	(注意3)	(注意3)

注意1 Service Pack 1でSCSI共有ディスクを使用する場合には、Express5800用Service Pack 1差分モジュールのRUR W2K-N-001を使用できません。

注意2 既に運用中の場合、CLUSTERPROセットアップカード、キーFDは必要ありません。

注意3 Service Packに依存したCLUSTERPROのUpdate/RURはありません。

Update/RURの情報については、「宝船」をご覧ください。

新規インストール、既に運用中に関係なく、できるだけ新しいUpdate/RURを適用するようご検討ください。

2 インストール手順

CLUSTERPROのバージョン、適用するサービスパックの種類、使用している切替パーティションのタイプ、クラスタの運用状態(既存システムへのService Packの適用か、新規インストールする環境へのService Packの適用か)によって、手順が異なります。

次ページ以降の該当する手順を参照してください。

2.1 CLSUTERPROをすでに運用中の場合

手順の概要は以下の通りです。

- * CLUSTERPROが起動しないようにサービスのスタートアップ環境を変更
- * Service Packの適用
- * CLUSTERPROが起動するようにサービスのスタートアップ環境を変更

以下の手順で、Service Packを適用します。

1. Administrator権限を持つユーザでログオンしてください。
以後、必要な作業はAdministrator権限を持つユーザで行ってください。
2. 全サーバの「ActiveRecoveryManager」サービスのスタートアップの種類を[手動]に切り替えて、クラスタシャットダウンを行い、サーバの電源をOFFして下さい。

ActiveRecoveryManager LogCollector サービス、ActiveRecoveryManager MD Agentサービスがあれば、これらのスタートアップの種類も[手動]に変えてください。

3. 手順3-1から手順3-6までの作業を各サーバごとに行ってください。(各サーバ共、同時に作業を行なえます。)
手順4終了後の再起動までの間、CLUSTERPROは動作していませんので、サーバは単体サーバ同様にシャットダウン/起動ができます。

3-1 サーバを起動します。

3-2 サーバにService Pack、Express5800用Service Pack差分モジュールを適用します。

CLUSTERPROのUpdateやRURの適用がない場合は、ServicePack適用後の動作確認を行ったあと、手順4へ進んでください。

3-3 稼働中のCLUSTERPRO APIを使用しているAPを全て停止してください。

NEC製の以下の製品が同時にインストールされている場合は、プログラムの終了または、サービスの停止を行わなければならない場合があります。

- ESMPRO/ServerAgent
- ESMPRO/AutomaticRunningController
- ESMPRO/DeliveryManager
- ESMPRO/DeliveryManagerエージェント
- ESMPRO/DeliveryManagerクライアント
- ESMPRO/FileTransfer
- ESMPRO/Relay
- OLTPpartner

- 3-4 「SNMP」サービスを[停止]します。
SNMPサービスの停止に依存して停止する必要のある他のサービスがあれば同時に停止します。
- 3-5 最新版のUpdate、RURを適用します。
お手持ちのExpressServerStartupに収録されているCLUSTERPROにUpdate、RURが不要な場合には、次の手順に進んでください。

Updateの場合は、FDドライブに「CLUSTERPRO Update-FD」の1枚目のFDをセットして、コマンドプロンプトより、FD上のUPDATE.EXEを実行してください。
CLUSTERPROサーバ用のUpdate-FDが複数枚で構成されている場合には、CLUSTERPROサーバ用のすべてのFDのUPDATE.EXEを実行してください。

RURの場合はExpressServerStartupの手順にしたがって、RURを適用してください。

- 3-6 サーバを シャットダウンし、サーバの電源をOFFします。
4. 全サーバを起動します。
以上で手順は終了しました。
必ず全サーバの「ActiveRecoveryManager」サービスのスタートアップの種類を[自動]に戻してから、再起動してください。

ActiveRecoveryManager LogCollector サービス、ActiveRecoveryManager MD Agentサービスがあれば、これらのスタートアップの種類も[自動]に戻してください。

2.2 CLUSTERPROを新規インストールする場合

手順の概要は以下の通りです。

- * Service Packの適用
- * CLUSTERPROのインストール
- * 必要なUpdate、RURの適用
- * CLUSTERPROが起動するようにサービスのスタートアップ環境を変更

以下の手順で、Service Packを適用とCLUSTERPROのインストールを行います。

1. Administrator権限を持つユーザでログオンしてください。
以後、必要な作業はAdministrator権限を持つユーザで行ってください。
2. 全サーバにService Pack、Express5800用Service Pack差分モジュールを適用します。
3. 「SNMP」サービスを[停止]します。
SNMPサービスの停止に依存して停止する必要がある他のサービスがあれば同時に停止します。
4. 全サーバに CLUSTERPROをインストールします。
インストール中の手順については 必ずCLUSTERPROのセットアップカードを参照してください。
5. 引き続いて 全サーバにCLUSTERPROのアップデート、RURを適用します。
お手持ちのExpressServerStartupに収録されているCLUSTERPROにUpdate、RURが不要な場合には、次の手順に進んでください。

Updateの場合、FDドライブに「CLUSTERPRO Update-FD」の1枚目のFDをセットして、コマンドプロンプトより、FD上のUPDATE.EXEを実行してください。
CLUSTERPROサーバ用のUpdate-FDが複数枚で構成されている場合には、CLUSTERPROサーバ用の、すべてのFDのUPDATE.EXEを実行してください。

RURの場合はExpressServerStartupの手順に従って、RURを適用してください。

6. 以上で手順は終了しました。
セットアップカードを参照のうえ、セットアップ後に必要な手順とクラスタ生成を行ってください。

3 付録

SCSI 共有ディスクで Express5800 用 Service Pack 1 差分モジュール (RUR W2K-N-001) を適用した場合、STOP エラーが発生し、サーバが起動できなくなることがあります。

この場合、以下の手順にて復旧していただき、RUR W2K-N-002 以降を再度適用していただくようお願い致します。

1. STOP エラーが発生しているサーバの電源を OFF にします。
2. 本体装置のカバーを外し、SCSI コントローラ (N8503-10) を PCI スロットから外します。
3. 本体装置のカバーを閉じ、電源を ON します。
4. サーバの起動後、Administrator 権限を持つユーザでログオンします。
5. エクスプローラ等で %SYSTEMROOT%\SYSTEM32\Drivers\symc8xx.sys を削除します。
6. サーバをシャットダウンします。
7. SCSI コントローラ (N8503-10) を元の PCI スロットに接続し、サーバを起動します。
8. Administrator 権限のあるユーザでログオンし、スタートメニューから設定 コントロールパネルを起動する。
9. 管理ツール内のコンピュータの管理を起動し、デバイスマネージャをクリックします。
10. SCSI と RAID コントローラをクリックし、[Symbios 875XS | D, 2280X PCI SCSI Adapter] のプロパティを開きます。
11. ドライバタブをクリックし、ドライバの更新をクリックします。
12. このデバイスの既知のドライバを表示してその一覧から選択するを選択し、次へをクリックします。
13. [Symbios 875XS | D, 2280X PCI SCSI Adapter] を選択して次へをクリックし、ドライバをインストールします。
14. サーバの再起動を要求された場合、再起動します。
15. 共有 Disk 等のドライブ文字に誤りがないことを確認し、RUR W2K-N-002 以降を適用します。